

ところざわ倶楽部 第16期定期総会資料

22年11月21日（月）

ミューズ展示室

目 次

1. 第 15 期ところざわ倶楽部総括	P 3
2. 第 15 期活動報告	
2－1 総務部報告	P 4
2－2 事業部報告	P 6
2－3 広報部報告	P 7
2－4 サークル活動報告	P 9
3. 第 15 期会計報告および監査報告	P16
4. 第 16 期役員改選（案）	P17
5. 第 16 期ところざわ倶楽部活動方針（案）	P18
6. 第 16 期活動計画（案）	
6－1 事業活動計画（案）	P19
6－2 広報活動計画（案）	P20
7. 第 16 期予算（案）	P21

1. 第15期 ところざわ倶楽部総括

明るく 楽しく 元気を取りもどすことができましたか？

ところざわ倶楽部 会長 中原 幹男

2021年には、コロナ対策として1年延期された東京オリンピックが無観客開催となりました。今年2022年2月には、ロシアのウクライナ侵攻が始まり、7月には、安倍元首相が凶弾に倒れる事件が起こり、9月には、イギリスのエリザベス女王が96歳で亡くなりました。このところ歴史教科書で学んだような世界的な事件が起こり、歴史は繰り返すことをまざまざと思い知らされています。

また、急激に勢いを増している異常気象は、地球上に大きな災害をもたらしており、戦争を筆頭に人間による環境汚染は止まらず、人類を含む生物の危機が迫っているのではないのでしょうか。

これらの事件や事象から、我が国の危機対応がすべての面で脆弱であることが浮き彫りになりました。年金は下がり、物価は上がり続けるでしょう。政治には制度設計を立て直してもらわなければなりませんし、わたしたち市民も自分事として関心を持ちつつ、社会変化の波を乗り切る知恵と行動が必要だと思います。

さて、ところざわ倶楽部は、コロナ下で2020年度、2021年度にわたり行事の制限を余儀なくされました。2022年度は、コロナを意識しながらコロナ前の活動を徐々に取り戻すために「明るく、楽しく、元気を取り戻しましょう！」のキャッチフレーズを掲げ、健康増進セミナー、文芸講座、時局講演会、第2回ところざわ倶楽部まつりの4大行事を開催することができました。また、サークルとコラボして民話の由来地巡りや、三ヶ島散策を行いました。それぞれ企画の成功3要素、1)内容の面白さ 2)演者の味 3)参加者の盛り上げ がそろい、参加された皆様には満足していただいたと思います。企画運営も含め参加されたみなさまにお礼申し上げます。そして、困難な状況の中、「広場」や「ホームページ」で内容のある情報を発信し続けました。

また、各サークルにおいてもコロナ下、種々の工夫がなされ、活動を徐々に取り戻してきました。サークル活動報告をどうぞご覧ください。

当倶楽部の特長は、種々のサークルが市民大学の理念をうけつぎ、学びを広め、特色のある活動を行い、地域に貢献していることにあります。また、サークル同士が交流し、お互いに刺激し合っています。

抱えている課題は、コロナ下で新修了生の入会数低迷が続いたこともありますが、コロナ以前から高齢化が進んで、運営継続が難しくなっているサークルが出てきていることです。倶楽部として、修了生への広場や行事チラシ配布を継続し、28期企画委員長、29期企画委員長に理事会に加わっていただいてつながりを維持しており、9月と10月には3年ぶりに市民大学修了生への倶楽部紹介・勧誘活動を行いました。その成果として、18名から新16期に入会の申し込みがありました。これはコロナ前に近い入会者数ですが、今後も修了生の入会を増やすことともに、現役社会人が受講しやすい市民大学にすべく、制度改善の働きかけを行っていく必要があります。

2. 第15期 活動報告

2-1 総務部報告

総務部長 大西 優

1. 会員動向

前14期在籍人員は236名。15期の退会者は21名、入会者は10名で、在籍会員数は225名でした。在籍会員数、退会者数、入会者数は、いずれも14期より若干減少しました。

又、在籍会員の内、27期生は5名、28期生は1名、一般会員は19名でした。

2. サークルの動向

今期、活動サークルの数は14サークルで増減はありませんでしたが、「葵の会」と「生きいきシニア福祉の会」は、会員の高齢化と役員の交代者がいないとして、今期を以て活動を終了することになりました。

各サークルの活動状況については、2-4サークル活動報告をご覧ください。

3. 理事会の開催

令和3年12月13日月曜日の、第15期第1回理事会では、新任理事6名を迎え、ところざわ倶楽部と会員の皆が、「明るく 楽しく 元気をとりもどしましょう」を念頭に活動して行くことを確認しました。

以後、原則として毎月第2月曜日、11回の定例理事会を開催し、毎回22名の理事の殆んどが出席して、諸課題を話し合いました。

お陰様で理事のみなさまには、それぞれの事業計画の遂行はもとより、理事会での討議や諸事項の連絡、各事業参加の出欠、年会費の請求など、サークルとの懸け

橋となつてご尽力いただきました。

理事会は、中原幹男、玉上佳彦、松尾基昭、大西優、梅津博紀、小田島禮子、大木美和子、仲山富夫、薄井文子、園田ヒロ子、内川賢治、高橋信行、鹿嶋伸郎、佐野喜代子、田沼幹子（水上俊彦）、野口喜美夫、川上紀春、浪間扶美子、石堂智士、木下みえこ、茂出木正和の各氏 22 名で構成されました。

又、役員会は、事業の準備や理事会連絡事項の確認の為、中原会長、玉上副会長、広報部長、松尾副会長事業部長、大西副会長総務部長、小田島広報部副部長、梅津事業部副部長、大木総務部副部長の 7 名により、12 回開催されました。

4. 市民大学との連携

ところざわ倶楽部の理事会に、市民大学第 28 期企画委員長並びに 29 期企画委員長に加わって頂くとともに、市民大学受講中の方々（28 期・29 期生）に対しては、広報誌「広場」の定期配布や行事のチラシ配布などを通して、ところざわ倶楽部行事やサークル活動などを紹介し、参加への働きかけを行いました。

9 月 13 日には、28 期生向けに「さんさん会」と共に、市民大学 OB 団体としての説明会を開催、10 月 25 日には、28 期生の修了式後に 12 サークルのパネル展示による紹介と、ところざわ倶楽部への入会勧誘が行われ 17 名の新入会員を迎えました。

今期は開催出来ませんでしたが、「市民大学企画委員会」との意見交換の場を復活させ、連携を密にして行きたいと願っています。

5. ところざわ倶楽部の会計

後記、第 15 期会計報告及び監査報告をご覧ください。

尚、ところざわ倶楽部まつりにおける寄付金 1 万 2 千円は、全額を 10 月 19 日所沢市社会福祉協議会「所沢市こども未来基金」へ寄付しました。

6. 第 16 期定期総会

日 時：令和 4 年 11 月 21 日（月曜日）14：00～16：00

総会後の第 2 部 佐井佳代子氏「音楽療法」講演

場 所：所沢市民文化センターミューズ 2 階展示室 「ザ・スクエア」

2-2 事業部報告

事業部長 松尾 基昭

今年度の活動については、活動方針にある「明るく 楽しく 元気をとりもどしましょう」のスローガンの下コロナ対策にも配慮し、慎重な対応を図りながらも会員皆様のご協力により無事下記イベントを積極的に開催することが出来ました。

特に、当初計画段階では様子見としてきた「ところざわ倶楽部まつり」を今年度活動の総仕上げとして総力で実施できたことは、次年度以降の活動にも繋がる素晴らしい成果であったと思います。

	イベント名	開催日	会場	参加人員	備考
1	健康増進セミナー (講師 井手一茂) (" 栗原香菜)	2月27日(日)	中央公民館ホール	115名	無料 会員79名 一般36名
2	おはなしと演奏の会 (講師 三戸素子)	4月23日(土)	松井公民館ホール	85名	無料 会員50名 一般35名
3	文芸講座 (講師 竹内好夫)	7月1,8日(金)	新所沢公民館ホール	121名(1日) 120名(8日)	有料(申込者) 会員95名 一般49名
4	時局講演会 (講師 笠松泰洋)	8月17日(水)	中央公民館ホール	154名	無料 会員94名 一般60名
5	ところざわ倶楽部まつり	9月29日(木)	中央公民館ホール	197名	無料 会員131名 一般 66名
6	総会	11月21日(月)	ミューズ(展示室)	100名程度	
7	サークル共催企画	民話の会	第3回民話の由来地巡り	5月20日(金)	参加者33名
		野老澤の歴史を楽しむ会	三ヶ島散策	10月20日(木)	参加者40名

1. 健康増進セミナー

今年度のスローガンに沿う目玉として注力したイベントでしたが、第1部の講座内容や第2部の参加型の企画(チアダンス)が好評で、大変な盛り上がりを見せました。

2. おはなしと演奏の会

三戸素子氏による自身主宰のオーケストラに関わる話とバイオリンとピアノの競演という企画でしたが、大変好評なイベントとなりました。

3. 文芸講座

竹内好夫講師による NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」にあやかり二人の郷土の武将（比企能員と木曾義仲）を取り上げた文芸・歴史講座でしたが、タイムリーなことや、竹内先生による巴御前の仕舞の披露もあり大変好評でした。

4. 時局講演会

お盆明けの難しい開催時期でしたが、笠松泰洋講師のお陰で予想以上の参加者が集まりました。

講演も、音楽の持つ普遍性や政治情勢に影響される音楽家の問題等、熱い語りで興味深い内容のある話となりました。

5. ところざわ倶楽部まつり

3 年ぶりの開催となる中、短い準備期間であったにも関わらず無事好評裡に開催出来ました。

6. 総会

総会後の第 2 部は今年度の活動方針の締めくくりとして佐井佳代子氏（音楽療法士）による「音楽療法」のイベントを企画しました。

7. サークルとの共催事業

2 サークルの協力を得てアウトドアのイベントを 2 回実施しました。会員間の親密化や他の活動を知る良い機会となりました。

2－3 広報部報告

広報部長 玉上佳彦

1. 本年度の活動

広報部は、ところざわ倶楽部の会員相互の情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページの二媒体をベースに、発行・発信作業に取り組んできました。他のサークルとのコラボレーションが可能となるように、各サークルの活動を幅広く公開して、相互交流を拡大・促進できるツールとして機能させております。

幸いにして、今年度は、編集委員各位の努力によって、編集会議は月 1 回の編集会議と事前のメールによる相互配信による校正作業等で、なんとか毎月発行が可能となりました。

2. 広報紙「広場」について

- ・「広場」は、HP をご覧いただけない方々にも見ていただける紙媒体での情報発信ツールとしての機能を果たしていますので、今年度は休刊せずに、8 頁構成で毎月発行することができました。
- ・昨年同様に、編集委員には積極的な女性に入っていただき、現在 15 名の編集委員のうち 7 名が女性で、活発な提案によって、紙面作成も女性中心で対応しています。

- ・ 2018 年 6 月号からスタートした「戦争と平和！」シリーズは、新たなシリーズ「世界の平和を考える」を、2021 年 3 月号からスタートしました。複雑化する世界情勢に対応した投稿を掲載し、今後は、会員だけでなく、特別会員の方々にも投稿いただく予定です。
- ・ 各号で地球環境に学ぶサークルの協力により、「環境問題シリーズ」を定期的に掲載して、皆さんの環境問題に関する知見を広げていただけるようにしています。HP にもまとめて掲載しています。

3. ホームページの活用

- ・ HP は、原則として、毎週日曜日に更新して、皆様に最新情報を発信してきました。おかげさまで、各サークルの活動報告や会員の投稿、豊富な会員個人からの情報・案内なども掲載することができました。
- ・ ビデオ動画の作成により、昨年に定期総会、健康増進セミナー、三戸素子お話と演奏の会、時局講演会、第 2 回ところざわ倶楽部まつりなどを YouTube にアップして、ところざわ倶楽部の HP から見ていただけるようにいたしました。

2-4 サークル活動報告

1. 葵の会 代表：水上 俊彦 連絡先：080-6855-5868 会員数：26 名

① 今年度の方針

毎月の講座を中心に春は文学散歩、秋は日帰りバス旅行、古典芸能鑑賞、会員親睦を目的に新年会と8月の暑気払い、及びところざわ倶楽部主催の文芸講座と時局講演会参加を中心に計画してきました。

② 今年度の活動実績

コロナ感染者拡大のため1月21日に発令されたまん延防止等重点措置期間のため2月はやむを得ず中止いたしました。昨期から継続してきた及川道之先生の講座「万葉集」を3月までお願いし、計12回実施していただきました。4月からは竹内好夫先生にお願いし、西行「山家集」を7月まで4回講義していただきました。8月を休講として、9月は今年度最後の講義として及川先生に「文学」の講義をしていただきました。10月はバス旅行を計画いたしましたが、コロナ感染者増大7波の時期に当たり参加希望者減少のため中止しました。

「葵の会」の会員26名の8割近くの会員が後期高齢者となり、役員の交代者がいない現状です。このまま来期継続について検討した結果、今期で廃部することに異議がありませんでしたので、一旦「葵の会」を閉じることになりました。

10月13日、市内「梅の花」にて解散昼食会を開き13年にわたる活動を閉じました。

2. アジア研究会 代表：玉上 佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：31 名

①今年度の方針：最近の中国、台湾、韓国、東南アジア諸国などにて、政治情勢が緊迫しつつあるので、その現状と今後の問題点について、会員各位の調査報告、具体的問題に関する討論会、他サークルとのコラボレーションなど通して、学びを深め、草の根レベルでのアジア諸国の人々との交流・親善を図る。

②今年度の活動実績：各会員により以下のようなテーマで報告・討論を実施

- ・中国経済、日米地位協定、日本とユダヤの教育法、世界のEV市場、核物質輸送に関する報告会など
- ・会員の旅行記報告会（内モンゴル・九寨溝・シャングリラなど中国各地、インド、韓国など）
- ・JETRO アジア経済研究所見学など

③来年度の方針：

- ・アジア情勢に関する各種テーマで、各会員の研究報告を受け、討論を進める。
- ・外部専門家による講演、発表会を企画（他サークルとのコラボレーションも含めて）
- ・外部施設、展示会などの見学を通してアジア研究会としての見聞を広める。

3. 活きいきシニア福祉の会 代表：川上 紀春 連絡先：090-5573-2548 会員数：14名

① 今年度の方針

(1) 国・地域福祉制度を学ぶ（重点継続）(2) 健康・終活に役立つ知識を学ぶ (3) 近隣散
等コロナ禍でも楽しめる企画を検討

② 今年度の活動実績（主な活動を紹介します）

【11月】「人生会議 ACP:アドバンス・ケア・プランニング」について学習。人生会議とは、私達が望む医療・ケアについて前もって考え、家族や医療関係者と繰り返し話しあい共有すること。【12月】「所沢市社会福祉協議会の活動」をコミュニティソーシャルワーカーより「ところ WITH プラン」で学習。【2月】「認知症わたしたちにできること」DVD 視聴し、認知症について正しく知り、家族が発症した場合、自分のこととして考えるヒントを学習。【3月】「フレイル」予防について学習。フレイルとは、健常から要介護へ移行する中間の段階、予防体操も体験。【5月】「地域福祉サポーター学習会」に参加、フレイル予防講習の体験会で運動とゲームを楽しみました。【6月】映画「明日の記憶」DVD 視聴、若年性アルツハイマーについて学習。【7月】(株)あしたばフューネスト 岩田裕之氏講演会「人の数だけ終活あり」で現場の視点で終活の具体的な事例を受講。自分自身の「生きた証し」や「願い」を託すためのエンディングノートの書き方について学習。

尚、今期をもちまして、当サークルは活動を中止することにいたしました。超高齢社会の問題について様々な勉強をすることができ感謝しています。

4. 楽悠クラブ 代表：田村 健一郎 連絡先：2949-3434 会員数：26名

①今年度の方針 DVD、LD による月例会鑑賞において、オペラ、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、様々なジャンルの音楽を鑑賞する。

②今年度の活動実績

【11月】2022 年度鑑賞演目候補及び担当を選定 12 名参加 【12月】特集：年忘れシリーズ鑑賞及びサークル総会 19 名参加 【1月】プッチーニ歌劇「ラ・ボエーム」20 名参加&新年会 【2月】「ショパン・コンクール 2021」16 名参加 【3月】ヴェルディ歌劇「アイーダ」19 名参加 【4月】ヴェルディ歌劇「リゴレット」&ドキュメンタリー「指揮者ハイテンクの我が人生」22 名参加 【5月】ガーシュウィン特集オペラ映画「ポーギーとベス」18 名参加 【6月】プッチーニ歌劇「トゥーランドット」18 名参加 【7月】クイーン映画「ボヘミアン・ラプソディー」16 名参加 【8月】休会 【9月】ミュージカル映画「マンマ・ミーア」16 名参加 【10月】ワーグナー歌劇「さまよえるオランダ人」小澤征爾指揮ウィーン国立歌劇場管弦楽団 19 名参加

③来年度の方針

月例会では、今年度実施出来なかった演目を含めて、様々なジャンルの音楽を鑑賞するとともに、可能であれば演奏会や音楽講演会に参加する。

5. 食を通して所沢を知る会 代表：岡部まさ子 連絡先：080-5872-1868 会員数：13名

① 今年度の方針

- ◆食に関する様々な学びを深める。 ◆所沢産の産物の料理の開発。
- ◆地産地消の店の発掘発信。 ◆フードバンクへの協力。

② 今年度の活動実績

1月…活動計画作りと新年会 2月…いちご狩り（狭山ベリーランド） 3月…昆虫食について（食料不足に備えて）ミニ講演会と試食 4月…スパイスの話とチャイティパーティ 5月…お茶の話（新井園本店訪問）
6月…「パティスリーモアオシィ」オーナーパティシェ高浦氏の話・「水餃子作り」
7月…「宗家の三姉妹」鑑賞（ミャンマー料理の代わり） 9月…トコトコ農園見学と懇親会 10月以降の予定 10月…神代植物園の訪問（薔薇）と深大寺の蕎麦（昼食） 11月…ミニ講演（予定） 12月…最近の日本酒の潮流 ミニ講演会と忘年会。

③ 来年度の方針

- ◆食料不足が予測される今後の課題や食の安全性また身近な所沢の産物について学ぶ講座の開催。コロナ禍で今年できなかった食に関する工場見学。 ◆フードバンクへの協力。

6. 地球環境に学ぶサークル 代表：中原幹男 連絡先：080-4151-1045

会員数：12名

1. 今年度の方針

- (1) 施設見学会：第五福竜丸、東部クリーンセンター、他、（コロナ禍の状況で実施）
- (2) 定例会での討論、学習した情報を「広場」、HPに掲載、等で発信する。主な事項：温暖化の現状・再生エネルギーの普及状況、・廃プラ、ゴミ等の状況・生物への影響
- (3) 読書会を実施する。 (4) ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続する。

2. 今年度の活動実績

- (1) 施設見学会：カルチャーパーク・東部クリーンセンター、柳瀬荘黄林閣
- (2) 定例会での主な討論：COP26検証、環境宣言後環境チェックシートで省エネの徹底、食糧自給率、化学物質での汚染、「脳に騙されるな」鑑賞、リニア新幹線問題、エネルギーや食糧安保、等 (3) 読書会を実施 (4) 「所沢環境市民の会(仮)」準備会協力

3. 来年度の方針

- (1) 施設見学会：第五福竜丸、風力発電設備、他、（コロナ禍の状況で実施）
- (2) 定例会での討論、学習した情報は「広場」、HPに掲載、等で発信する。
主な事項：異常気候、脱炭素社会、廃プラ、ゴミの状況、生物への影響、等
- (3) 読書会を継続実施する。 (4) 「所沢環境市民の会」への参加
- (5) ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続する。

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也 連絡先：090-9820-5668 会員数：6名

1, 今年度の方針

- ① シニア世代の健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ② シニア世代の社会参加による元気なまちづくりをめざす。
- ③ シニア世代の相互の助け合い・支え合いによる健康寿命の延伸をめざす。

2, 今年度の活動実績

- ・コロナ禍により対外的な活動はほとんどできなかった。
- ・定例会の開催：毎月1回「われわれの2025年問題とは？」のシリーズで、シニア世代の身近な問題をテーマに、会員相互の情報交換・交流を深めた。
- ・市民活動支援センター活動：センター主催の連絡会議、センターまつり等に参加。
- ・SP活動：恒例の行事・イベントは「市民活動センターまつり」「ところざわ倶楽部まつり」等に参加。自主練習はほぼ月2回開催。

3, 今後の活動予定

- ① 毎月の定例会：内容を充実させ、テーマによっては対外的に呼びかけて開催。
- ② 「なんでも塾」「市政ひよこ塾」の開設：感染状況をみて適宜学習活動を開催。
- ③ 関連サークルとの交流：他サークルとの連携は共有する課題により共催を検討。
- ④ SPの活動：諸イベント・行事参加、老人ホームなどの施設訪問には支援・協力。

8. 所沢の自然と農業 代表：稲村洋二 連絡先：2992-1751 会員数：34名

今年度の方針：会員の皆さんが楽しく活動できる場を継続して提供して懇親を深める。

- ① 一月に陽子ファーム、伊東農園の落ち葉掃きを実施。
- ② 4月末、政貴増田園の新茶の摘み取りボランティアを実施。
- ③ 7月増田園の増田社長による“おいしい日本茶の淹れ方”講演会開催。
- ④ 9月29日開催ところざわ倶楽部祭り参加。舞台、展示とリンゴ抽選配布を行った。
舞台部門の練習を4回行い会員27名参加
- ⑤ 10月20日。初めてサークルの日帰りバス旅行を実施。沼田から金精峠・日光へ。
- ⑥ 週2回の市大ファーム・山田ファームの野菜つくりと春秋の収穫祭開催。
- ⑦ 春と秋の近郊ハイキングそれぞれ15名前後参加。
- ⑧ トトロ21号地の整備・保全活動を隔月実施。
- ⑨ トトロの森自然観察会を実施。(5月)
- ⑩ 柳瀬荘黄林閣の整備・保全活動を月2回実施した。
- ⑪ 10月8日“農と里山シンポジウム講演会”に参加

来年度の方針：今年度の活動を基本的には継続するが“三富の農”についての講演会を計画する予定。

9. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：栗屋貴夫 連絡先：2907-4167 会員数：44名

1. 今年度の方針

アンケート調査で全員の意見を反映させ、月2回の計画。内容としては講師を迎えての歴史講座、フィールドワークとしての史跡探訪、会員相互の親睦を深める企画をする。

2. 今年度の活動実績

1～2月は新型コロナ第6波の影響で月例会が中止、延期のやむなきに至りましたが、3月からようやく動き出すことが出来ました。

(3/3 木村立彦氏歴史講座・ところざわ歴史物語) (3/24 松井地区散策) (4/7 川越夜戦跡・新河岸川散策) (4/21 伝統工芸・安松ざる講習) (5/6 新河岸川水循環センター見学) (5/19 飯能歴史散策) (6/2 鎌倉街道・入間川道歩き) (6/16 旧町歴史探訪) (7/7 市民大学27期・28期生研究発表) (7/21 出前講座聴講・マチごとエコタウン所沢) (9/15 人工樹林の舞台を歩く)と順調に進捗しまして、年内残す計画は(10/6 五日市憲法の町探訪・10/20 三ヶ島散策・ところざわ倶楽部共催)バス旅行、定期総会、等となっています。

3. 来年度の方針

来年度は設立13年目を迎えます。年間活動目標20件、所沢の歴史とロマンに触れ、会員相互の親睦を深める活動内容(体験、探訪、見学、講座、バス旅、懇親会、等)を幅広く企画し、実行できる年にしたいと思います。

10. ドラマティック・カンパニー 代表：高橋信行 連絡先：090-9393-6238 会員数：11名

①今年度の方針：毎月2回の例会を実施維持・読み終えた作品を配役を決めて舞台本番のように行い、先生のコメントを頂く

②今年度の活動実績：読み終えた作品・「終わりよければすべてよし」；訳者松岡和子氏が全37戯曲完訳・「ヘンリー8世」：イギリス王朝の変遷と英仏関係の複雑さ似たような名前の王侯貴族の多出に閉口、またイギリス国教会創設のいきさつや妃を処刑するなどの事項に同時代のエリザベス1世とどう折り合いをつけたかなど興味ある作品であった

・「冬物語」：ロマンス劇として長く続く後悔と苦しみの「時」を隔てての最後の死者再生のハッピーエンド物語、朗読を終えた時期が「ところざわ倶楽部まつり」エントリーに間に合ったこともあり舞台出演を決めた

・笠松先生の「時局講演会」「ところざわ倶楽部」主催8月17日実施)サポート

③来年度(第16期)方針：

・定例会(第一、三土曜日)の実施継続：臨機応変の臨時会も開催する

・読了作品をサークル内での「本番」実施により さらに登場人物の(作者の)理解に努め、表現力を高める

11. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：080-1250-6151 会員数：26名

① 今年度の方針

例年同様月2回の上映会を目指す。暮らしの歳時記。川越スカラ座（無声映画）。
ところざわ倶楽部まつり参加。所沢 JAZZ フェスティバル他参加。
暮らしの歳時記実施。

② 今年度の活動実績

例年通り2回/月の上映会の計画を立て実施。
暮らしの歳時記は、規模を縮小して、少数実施。
コロナ感染拡大防止の為、感染対策（マスク、手指消毒、換気）をして上映。
ウクライナ情勢による「ひまわり」「チャップリンの独裁者」「王将」は感動的でした。
今後、「戦場のピアニスト」「新悪名」「レッド・サン」「明日の記憶」等上映
最終は、「トラ・トラ・トラ」上映。年度纏め会。

③ 来年度の方針

基本的方針に変更なし（月2回の上映会の実施）
年次行事/ 暮らしの歳時記 出来る事から実行
コロナ禍 感染状況と相談しながら実施。

12. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数：11名

<前年度の実績>

コロナの影響で所沢以外でやる「屋外事業」は全て中止としました。前年度の事業では歌を歌ったり、音楽を聴くような事業を増やしました。又、会員自身が行っている脳活の話を聞き、意見交換をするなどで補完してきました。

<今年度の方針>

コロナの状況を注視しながら、屋外事業も計画する。認知症予防関連事業については、外部の有識者の力を借りて、より多くのことを学んでいく。

<今年度の活動実績・予定>

4月25日	総会：方針と計画の決定	実績
5月23日	ボランティアによるハーモニカ演奏	同上
6月27日	フラワーアレンジメント 講師は会員の安田氏	同上
7月25日	認知症ゲーム（もしバナゲーム）	同上
8月22日	終活について 終活アドバイザー：大内暢之氏	同上
9月26日	認知症の人との対話どうしますか 志寒浩二氏	同上
10月22日	彩の森入間公園「バーベキュー」	予定
11月28日	「音楽療法」佐井先生指導	同上

13. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2947-0835 会員：15名

①今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

②今年度の活動実績・活動計画

- 3. 11. 15 「市議会議員 谷口雅典氏との意見交換会（質疑応答を含む）」
- 3. 12. 20 「長期テーマの検討」 会員討議によるテーマ決定後、グループ分け
- 4. 01. 17 「総会終了後、3 グループ発足と今後の活動検討」 グループ討議
- 4. 02. 21 「3 グループの活動について」 3 グループ発足報告と今後の方針
- 4. 03. 23 「3 グループ活動報告と財政学習会」教材「市民から見た所沢市の財政」配付
- 4. 04. 18 「B（地位公共交通政策）グループ活動報告」終了後、財政学習 2 回目
- 4. 05. 18 「市議会 G 活動報告、市議会のイロハ」終了後、財政学習 3 回目
- 4. 06. 20 「市議会 G 活動報告、市議会の現状」終了後、財政学習 4 回目
- 4. 07. 20 関東運輸局出前講座「地域公共交通政策の現状と利用促進」 質疑応答
- 4. 09. 21 「関東運輸局出前講座の質問と回答」 説明と意見交換
- 4. 10. 17 「市議会議員 荻野泰男氏との意見交換会」 質疑応答予定

今年の参加者は7～18人です。ブログは2019年8月からライブドアブログへ変更。

14. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：11名

①今年度の方針

- *民話の会設立10年目を迎え、会員一同新たな気持ちで活動を行う。
- *児童館・小学三年生の授業・各種老人施設等で「民話を語る会」の再開時に対応できる事前の勉強に励む。
- *所沢の民間伝承を題材に、楽しい説話の創作に挑戦する。
- *それぞれの会場に適応した内容の演出を考え、語りのスキルアップを図る。

②今年度の実績

- *コロナ禍にあって「民話を語る会」は中止となった。
- *5月20日 ところざわ倶楽部との共催「第3回民話の由来地めぐり」を実施した。
参加者30名で、日月神社（「とんぼの宿り木」を会員が語った）～持明院（「河童の詫び証文」を語った）～秋津ふれあいパーク（バラ園）へ散策した。
- *9月29日「第2回ところざわ倶楽部まつり」へ参加、オリジナル民話2編を語った。

③来年度の方針

- i. 児童館・小学校・各種老人施設での「民話を語る会」を再開する。
- II. 「第4回民話の由来地めぐり」（山口地区）を計画する。
- iii. 多くの仲間を募り、学び話し合い楽しいサークル活動に努める。
- iv. 所沢の民間伝承を題材に、楽しい民話の創作に挑戦する。

第 15期 会計報告および監査報告
(2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 31 日)

＜収入の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	273,236	273,236	0	郵貯・現金合計
会費	480,000	451,000	△29,000	15 期実績 227 名 X2,000 円 or1,000 円
会報郵送費	20,000	15,200	△4,800	15 期実績 19 名 X800 円
講座受講料	115,000	158,400	43,400	今期 2 日間、会員 96 名 X1,000 円・一般 48 名 X1,300 円
雑収入	0	12,000	12,000	第2回ところざわ倶楽部まつり 寄付金 12,000 円
合計金額	888,236	909,836	21,600	

＜支出の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	150,000	157,000	7,000	健康講座 35,000 円、音楽 20,000 円 講演会 25,000 円 文芸講座 55,000 円、バスケ 20,000 円
会場費	240,000	204,280	△35,720	理事会・15 期総会・講演会・まつり等
振込手数料	8,000	4,711	△3,289	会費等郵貯振替手数料
会報発行費	45,000	38,670	△6,330	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	30,000	22,860	△7,140	特別会員への「広場」郵送料を含む
通信費	15,000 12,000	16,904 12,000	1,904 0	総会資料発送等、 正副会長連絡事務費
事務費	105,000	55,509	△49,491	事務用品等、総会・講演会花代等
サークル補助費	70,000	68,000	△2,000	活動補助費(14C、3 月)
IT 費	57,000	52,622	△4,378	HPサーバー使用料、ウイルスソフト、Zoom 年間契約(22,110 円)及び対応備品購入
雑費	0	12,000	12,000	まつり寄付金を所沢市社協こども 未来基金へ寄付
予備費	70,000	28,500	△41,500	まつり舞台出演サークルへの補助等
次期繰越金	86,236	236,780	150,544	現金・郵貯合計
合計金額	888,236	909,836	21,600	

上記のとおり報告いたします。

2022 年 10 月 31 日 総務部 会計 大西 優 ㊞ 木下みえこ ㊞

＜監査報告＞

ところざわ倶楽部(2021 年 11 月 1 日～2022 年 10 月 31 日)の会計書類について監査を行い、報告書は 2022 年 10 月 31 日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

2022 年 11 月 5 日 会計監査 田口元也 ㊞ 岡崎久子 ㊞

4. 第16期役員改選（案）

No	期	氏名	第16期役職	理事	第15期役職	推薦母体及びサークル
1	20	中原 幹男	会長	留任	会長	地球環境に学ぶ
2	25	松尾 基昭	副会長事業部長	留任	副会長事業部長	アジア研究会
3	20	玉上 佳彦	副会長広報部長	留任	副会長広報部長	理事会推薦
4	22	大西 優	副会長総務部長	留任	副会長総務部長	所沢シニア世代地域デビュー支援の会
5	25	梅津 博紀	事業部副部長	留任	事業部副部長	理事会推薦
6	24	小田島 禮子	広報部副部長	留任	広報部副部長	理事会推薦
7	23	大木 美和子	総務部副部長	留任	総務部副部長	理事会推薦
8	15	仲山 富夫	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	民話の会
9	22	内川 賢治	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	懐かしの映画・鑑賞会
10	24	鹿嶋 伸郎	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	楽悠クラブ
11	24	佐野 喜代子	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	野老澤の歴史をたのしむ会
12	27	野口 喜美夫	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	理事会推薦 29 期企画委員長
13	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	理事会推薦
14	25	浪間 扶美子	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	所沢の自然と農業サークル
15	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	傍聴席
16	23	木下 みえこ	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	理事会推薦
17	24	茂出木 正和	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	理事会推薦
18	20	安田 好子	事業部担当理事	新任		脳活サークル
19	18	岡部 まさ子	事業部担当理事	新任		食を通して所沢を知る会
20	23	岩瀬 真弓	総務部担当理事	再任		ドラマティック・カンパニー
21	19	田淵 喜代子	事業部担当理事	新任		理事会推薦
22	19	岡崎 久子	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
23	20	田口 元也	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦

退任理事：薄井文子、園田ヒロ子、高橋信行、岩渕雅之、田沼幹子

5. 第16期 ところざわ倶楽部 活動方針（案）

明るく 楽しく 元気を！PART2

ところざわ倶楽部 会長 中原幹男

コロナに翻弄され続けた2020年、2021年を経て、2022年、社会はようやく日常を取り戻してきました。

ところざわ倶楽部は、3年ぶりに待望の「第2回ところざわ倶楽部まつり」を開催することができ、倶楽部の元気度・充実度を内外に示すことができました。

当倶楽部の特長は、種々のサークルが市民大学の理念をうけつぎ、学びを広め、特色のある活動を行い、地域に貢献していることにあります。また、サークル同士が交流し、お互いに刺激し合っています。

新年度も引き続き、コロナを意識しながらコロナ前の活動を取り戻し、また、サークルとコラボして会員全体が楽しめ、高めあえる企画を実行します。企画の成功3要素は、1) 内容の面白さ 2) 演者の味 3) 参加者の盛り上げ です。第2回ところざわ倶楽部まつりでその3要素がよく組み合わさり、観客席・展示会場ともども一体感が満ち溢れました。新年度もさらにみんなが明るく楽しく元気を取り戻せるように企画運営します。

「笑顔」「元気」「応援する気持ち」をもって、がんばろうとする人を応援し、がんばれない人にも寄りそう運営をしてまいります。

* 新年度の恒例行事のほかに取り組む課題：持続可能な会員構成の維持

・市民大学修了生の入会勧誘 ・市民大学現役受講生の入会勧誘 ・現役社会人が受講しやすい市民大学システム改善の働きかけ

6. 第16期活動計画（案）

6-1 事業活動計画（案）

事業部長 松尾基昭

1. 活動方針

前期活動は、コロナを意識しながら色々な企画を実施してきましたが、こうした中3年ぶりに開催した「ところざわ倶楽部まつり」は改めて一同会としての組織の力を知る大変良い機会となりました。

今年度の事業活動計画は、コロナに配慮しながらも、このイベントを中心に「明るく、楽しく、元気を！PART2」の基本方針の下、「参加型の企画」又、例年好評の文芸講座や時局講演会等会員皆様の期待に沿える充実した内容のものを用意いたします。是非、この機会を「交流かつ学びの場」として捉えて積極的に参加頂くようお願い申し上げます。

2. 活動計画

- (1) 参加型企画 主催者・参加者が一体となって楽しめる今年度方針に沿った目玉企画を検討中
- (2) 文芸講座 例年好評中に付き講師・テーマを選別の上複数日開催を予定
- (3) 時局講演会 時のニーズに沿った企画を検討
- (4) ところざわ倶楽部まつり
会の総仕上げとしての位置付けとして実演と展示での開催を予定
- (5) 総会 第2部での企画を検討

第16期 事業計画:概要及び時期

	イベント概要	時期	会場	参加人員	備考
1	参加型企画	4月	ホール	150名程度	内容検討中
2	文芸講座	6, 7月	〃	100名 〃	一般会員も対象
3	時局講演会	8月	〃	100名 〃	〃
4	ところざわ倶楽部まつり	10月	〃	200名 〃	舞台・展示
5	総会	11月	〃	100名 〃	会員限定

6-2 広報活動計画（案）

広報部長 玉上佳彦

広報部は、コロナ禍の中でも、これまで同様に、各サークルや地域にて活躍されているアクティブシニアを応援する情報発信ツールとして、広報紙「広場」とホームページを充実させていきます。具体的には以下のような施策を進めていきます。

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続 ②会員相互の親睦と情報交換 ③学びを地域に活かす
④ネットワークづくり

を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力していきます。

2. 編集体制の強化

- ・ 昨年同様に、約半数を占める女性編集会議メンバーとともに、編集体制の強化を図り、特に女性の編集委員の提案・企画にもとづき新たな方向性を探っていきたいと考えています。
- ・ 前年度と同じく、役員の編集会議への参加を受け、ところざわ倶楽部各部の活動方針との整合性をもたせるようにいたします。

3. 広報紙「広場」

- ・ 原則として、従来どおりの8ページ構成の月刊紙として発行し、HPでの閲覧ができない会員への情報提供媒体とし、市民大学受講生や各公民館への配布も継続していきます。現在は、公民館だけでなく、コミュニティセンター、こどもと福祉の未来館、野老澤町造商店などにも配布しています。
- ・ 一昨年4月に作成した「索引」の追加編集により、これまでの広場のバックナンバーを探索しやすい索引の利用を促進していきます。

4. ホームページ

- ・ 継続して更新しているHPを今後も、毎週滞りなく更新していく予定です。
- ・ 双方向の情報発信が可能ですので、皆様からのHPへの投稿をお待ちします。

5. パソコン相談会

2020年9月から始めたパソコン相談会は、今後も原則として毎月2回新所沢公民館にて実施しています。今後も継続して、会員の皆様のお役に立てるように進めてまいります。

7. 第16期 予算案

(2022年11月1日～2023年10月31日)

＜収入の部＞

(単位円)

項目	前15期決算	16期予算	増減	備考
前期繰越金	273,236	236,780	△36,456	
会費	451,000	440,000	△11,000	220名×2,000円
会報郵送費	15,200	16,000	800	20名×800円
講座受講料	158,400	115,000	△43,400	文芸講座(2回)/一般30×1,500 会員70×1,000
雑収入	12,000	0	△12,000	
合計金額	909,836	807,780	△102,056	

＜支出の部＞

(単位円)

項目	前15期決算	16期予算	増減	備考
講演会講師謝礼	157,000	160,000	3,000	参加型企画、文芸講座、講演会等
会場費	204,280	195,000	△9,280	総会、ところざわ倶楽部まつり、講演会、講座、理事会等
振込手数料	4,711	5,000	289	会費等ゆうちょ振替手数料
会報発行費	38,670	40,000	1,330	「広場」(印刷代・用紙・封筒・印刷代等)
会報郵送費	22,860	25,000	2,140	「広場」送料(郵送希望者・特別会員)
通信費	16,904	20,000	3,096	総会資料等送料
	12,000	12,000	0	正・副会長連絡事務費
事務費	55,509	60,000	4,491	チラシ・ポスター・講座資料印刷代・コピー用紙封筒・総会花代等
サークル補助費	68,000	60,000	△8,000	活動補助費(12サークル)
IT費	52,622	40,000	12,622	HPサーバー使用料、ウイルスソフト更新、Zoom Pro年間契約は更新無し
雑費	12,000	10,000	△2,000	
予備費等	28,500	100,000	71,500	追加行事費用・コロナ対策費用
次期繰越金	236,780	80,780	△156,000	
合計金額	909,836	807,780	△102,056	

総務部長 大西 優

【メモ】

